

とびだすたてもカードをつくろう

日時 10月17日(土)18日(日)10:00~15:00

会場 (一社)神奈川県建築士会ブース

対象 子どもから大人までどなたでもどうぞ

費用 無料 (ただし一人1枚)

横浜には歴史ある建物がたくさんあります。その中から立体カードにデザインされた三つの建物を紹介します。切り込みを入れたカードに谷折と山折をして、台紙に貼って「とびだすたてもカード」を作ってみましょう。



横浜市開港記念会館

この建物は、横浜開港50周年を記念し、市民の寄付金により大正6(1917)年に創建されて以来横浜の代表的建造物の一つとして多くの市民に親しまれてきました。昭和34(1959)年からは「横浜市開港記念会館」の名称で、公会堂として利用されています。国の重要文化財です。



ベリックホール

イギリス人貿易商B.R.ベリック氏の邸宅として、昭和5(1930)年に建てられました。昭和31(1956)年に遺族より寄付され、セント・ジョセフ・インターナショナル・スクールの寄宿舎として使われました。設計したのはアメリカ人建築家J.H.モーガンです。スパニッシュスタイルを基調とした潇洒な洋館です。



山手234番館

昭和2(1927)年頃外国人向けの共同住宅として建てられました。関東大震災により横浜を離れた外国人に戻ってもらうための復興事業の一つとして建てられました。設計は朝香吉蔵です。3LDKの間取りは、外国人向けに合理的かつコンパクトにまとめられています。



立体カードデザイン：キットラボ©

ブース出展：(一社)神奈川県建築士会

担当：情報広報委員会 協力：技術支援委員会子どもの生活環境部会